

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
56. 日本小児神経学会	43.身体障害者療育支援、教育現場での医療的ケアの実践への努力、障害をもったまま年齢が長じたキャリアオーバー児への診療支援、特別支援教育への積極的支援	1) 学会と社会との連携を強める・専門家としての支援 第45回日本小児神経学会総会で公開シンポジウム「教育と医療の連携・小児神経科医が果たすべき役割」を行った。シンポジストに教育職、保護者(患者家族)、行政(地元と文部科学省)を迎えた。 参加人数：約300人(教育関係者、保護者、医師など)。 効果：医療的ケアについてのあらゆる関係者が一同に介して討論し、問題点がかなり明瞭になった。今後はそれぞれの立場から基盤整備に向けた努力をする。 2) 学会と行政の連携 文部科学省特別教育支援課の要請に応じて、LD,AD/HDについての専門会議 【特別支援事業推進協議会】に学会として専門委員を送り協力した。 効果：上記疾患についての学会内専門家名〔280人〕をホームページに公表し、文部科学省にも伝えた。より確実な専門家による診断で、教育内容検討の資料となる。	1) 文部科学省の養護学校医療的ケアモデル事業の2年目になり、学会として研修体制の確立に協力する。2004年秋に学会医師を対象に「医療的ケア研修講師養成セミナー」を開催する。 第1回として全国に50人の講師を作り、養護学校担当者や地域支援事業の一貫として、それぞれの地域で専門医講師として研修を支援する。そのことにより地域や学校で重い障害を持つ子ども達がより快適な生活を目指せるとともに、保護者の負担も軽減される。 2) 2004年の第46回日本小児神経学会総会において、患者本人や家族が地域で快適に過ごすためにわれわれ専門医に何ができるかを引き続き討論する。ワークショップ「重度知的障害者の地域生活における健康管理-医療のノーマライゼーションの構築に向けて」では、重度知的障害者の地域生活における健康管理についても討論する。シンポジウム「小児神経科専門医とキャリアオーバー」では、キャリアオーバー(15歳以上の患者)児の課題と今後の診療態勢について討論する。公開シンポジウム「メディアが子ども脳におよぼす影響」を開催予定。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
58. 全国病児保育協議会	病気のこどもの家庭での看護保育の実践	<p>研修会を開催 ○基礎セミナー 「総論・看護師のための保育知識・保育士のための看護知識」 ○分科会 「なんでも相談Q&A」 「保育園型病後児保育（家庭的保育をめざして）」 「高実績施設からのワンポイントアドバイス」 「パートナーシップとしての行政とのあゆみ」 ○ワークショップ 「厨房施設衛生管理基準」 「病児のための遊びの提供」 「インシデントレポート」 その他 病児保育を知ってもらうための広報活動 ニュースの発行、HPの更新・維持 ポスターを作成し、各施設に掲示してもらうよう呼びかけた。</p>	<p>研修会を開催(平成16年7月18日・19日 於:横浜) ○市民公開講座 「横浜市の保育行政と病後児保育」 講師 横浜市子育て支援事業本部 本部長 鈴木 隆 氏 ○病（後）児保育室自己評価基準全国調査報告 ○全国病児保育室実態調査報告 ○基礎研修 「病後児保育基礎講座（仮）」 ○ステップアップ研修 「食物アレルギーと除去食」 「子どもの呼吸障害」 ○分科会 「なんでも相談Q&A」 ○ポスターセッション ○実習講座「日赤幼児安全法」 その他 病児保育を知ってもらうための広報活動 病児保育のポスターを年度ごとに内容を再検討し、作り変える。 過去のメール、掲示板の内容を整理し、病児保育に関するQ&Aをまとめる</p>
62. 日本小児期外科系関連学会協議会	39.41.	<ol style="list-style-type: none"> 協議会全体会議を7月15日(火)開催した。 小児医療、なかんずく小児の外科的医療の診療報酬改定について、厚生労働省保険局医療課へ適正な改正要望を平成15年10月に行った。 小児医療環境整備のため、日本小児総合医療施設協議会とともに、2003年度診療報酬改定要望書を作成して厚生労働省へ提出した。 課題3グループの行動目標だった「麻疹接種率の向上」を参加各団体に呼びかけた。 小児医療環境整備のために、小児期外科系関連の学会、研究会に当協議会への参画を呼びかける。 	<ol style="list-style-type: none"> 協議会全体会議を開催する。 日本小児総合医療施設協議会とともに、2004年度診療報酬改定要望書を作成する。 小児医療環境整備のために、小児期外科系関連の学会・研究会に、当協議会への参画を呼びかける。 課題3グループの今年度行動目標である「妊娠中、子育て中の禁煙運動」への取り組みを参加各団体に呼びかける。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
66. 日本小児循環器学会		<p>1. 川崎病管理基準の改訂 平成1年に作られた「川崎病管理基準」を改訂し、時代に合ったものにした。</p> <p>2. 「川崎病急性期治療ガイドライン」の作成 ガンマグロブリン単独大量療法に対する治療ガイドラインを作成した。</p> <p>3. 「川崎病心血管後遺症の診断と治療に関するガイドライン」の作成 川崎病がはじめて報告されてから35年以上が経過し、川崎病既往者の多くが内科領域の年齢に達している。このガイドラインは小児循環器医から循環器内科医への連携を確立するために、日本循環器学会が中心になり、日本小児循環器学会が協力して作成した。</p> <p>4. 学校心臓検診を継続的に行ない、突然死の予防に貢献している。</p> <p>5. 自民党「脳死・生命倫理および臓器移植調査会」に対して関係学会とともに要望書を提出した。 この要望書の骨子は、現行の法律に加えて本人が生前に拒否の意思表示をしていなければ遺族の承諾のみで臓器提供(年齢制限なし)を行なえるようにしてほしい、というものである。</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会	28.29.33.45.46.48. 49.58.60.62.	<p>1 第3回母子保健推進員全国大会の開催 平成15年11月7日(金)富山県民会館において本会議、富山県、富山市、全国母子保健推進員連絡協議会の主催、厚生労働省他21団体の後援により1,000名の母子保健推進員及び関係者を集め、開催した。 特別講演 「健やか親子21 母子保健推進員活動に期待するもの」 座長 和歌山県母と子の健康づくり運動協議会 会長 狭間歌子 演者 厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課 課長 谷口隆 活動報告 「大門町における地域母子保健活動の実際」 座長 長野県保健補導員会等連絡協議会 会長 伊藤氣雪 演者 富山県大門町保健センター 所長 宮本絹枝 富山県大門町母子保健推進員協議会 会長 山本芳子 富山県大門町母子保健推進員協議会 会員一同 記念講演 「住民参加から住民が主役に～須坂の母ちゃん、頑張る～」 座長 (社)母子保健推進会議 常務理事 原澤勇 演者 長野県在宅看護職の会 顧問 大峽美代志 大会宣言 富山県母子保健推進員連絡協議会 会長 川岸みづほ</p>	<p>1 第4回母子保健推進員全国大会の開催 期 日：平成16年11月18日(木) 会 場：宮城県民会館</p> <p>2 母子保健推進員教育事業 母子保健推進員研修会の開催</p> <p>3 全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会の開催 厚生労働省・全国自治体・母子保健推進員協議会代表に参加いただき、全国母子保健推進員連絡協議会組織育成・活動報告、情報交換を行う。</p> <p>4 本会議機関紙「地域母子保健情報紙-母推さん-」の刊行 「地域母子保健情報紙-母推さん-」を毎月1日(Na116~Na127)発行し、都道府県・保健所・市町村および母子保健推進員協議会等関係機関に配布する。</p> <p>5 母子保健に対する知識の普及啓発活動 10月を「母子保健強調月間」とし、厚生労働省の後援、(社)日本産婦人科医会など、会員団体の協力を得て次の事業を行う。 妊産婦、乳幼児の健康診査受診勧奨ポスターの制作配布</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		<p>2 全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会の開催 日 時:平成15年11月6日(木) 17:15 ~ 20:00 会 場:富山県民会館 701号室 内 容: 1.母子保健推進員活動報告 2.協議事項 3.情報交換 出席者:52名(厚生労働省担当課、県・市町村母子保健担当者、母子保健推進員代表および関係者) 3 母子保健推進員教育事業 母子保健推進員研修会の開催 市町村母子保健事業促進と母子保健推進員の資質向上をはかるため、母子保健担当者及び母子保健推進員を対象に、厚生労働省の後援により次の各県で研修会を開催した。</p> <p>主な研修会の内容は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 母子保健推進員活動 2) こどもの事故防止 3) 乳児期の歯科保健 4) 子育て支援(こころを育てる、絵本・ことばのよるこび) 5) 歯科保健 6) 子どもの虐待 7) 思春期保健 	<p>〔表 題〕 「ママと赤ちゃんの健康チェック」 一支援よう21世紀の健やか親子・健診を忘れずに受けましょう 働く女性・事業主の皆さん「母健連絡カード」を利用しましょう 「健やか親子21」国民運動の推進 6 母子歯科保健知識の普及活動 (1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者の歯科保健教育研修会の開催 (2) 歯科保健に関するテキストの制作配布 〔表 題〕 ダブルファイル「キシリトールでむし歯予防」「歯ブラシはこまめに替えよう」 (3) 歯科保健パンフレットの委託制作 愛知県及び三重県歯科医師会より委託を受け制作・配布する。 (4) 母子歯科保健教材セットの配布事業</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		<p>(3) 母と子の健康を守るつどい 母子保健推進員の地域活動を助成し、県民の乳幼児保育に対する意識の向上と地域連帯感の高揚をはかるため「母と子の健康を守るつどい」を次の県で開催した。 開催日：平成15年10月5日（日） 県：山口 会場：柳井市保健センター 参加人数：200人 (4) 母子保健指導書の制作頒布ならびにリーフレットの制作配布 母子保健推進員に対する指導書及び推進員訪問活動用リーフレットを制作配布し、母子保健事業の教育並びに啓発を行った。</p> <p>1) 指導書 〔表題〕 「母子保健推進員」 〔配布先〕 母子保健推進員</p> <p>2) リーフレット 〔表題〕 ① 「丈夫な赤ちゃんを生き育てましょう」 ② 「元気に育てよう 私の赤ちゃん」 〔配布先〕 母子保健推進員（研修会参加者）</p> <p>4 都道府県母子保健推進員協議会の組織育成事業 母子保健推進員の育成と全国的な組織活動を支援する都道府県母子保健推進員協議会に対して育成費の助成を行った。 富山県母子保健推進員連絡協議会 長野県保健補導員会等連絡協議会 新潟県母子保健推進協議会 和歌山県母と子の健康づくり運動協議会 山口県母子保健推進協議会 佐賀県母子保健推進協議会</p>	<p>7 妊婦等禁煙運動の推進 (1) ポスターの制作配布〔表題〕 「ママ、パパ、タバコすわないで」 (2) リーフレットの制作配布 〔表題〕 「ママ、パパ、タバコすわないで」 (3) クリアファイルの制作配布 〔表題〕 「ママ、パパ、タバコすわないで」 タバコの吸いすぎは、早産・低体重児の誘因になります。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		<p>5 本会議機関紙「地域母子保健情報紙-母推さん-」の刊行 地域母子保健担当者を対象として、機関紙「地域母子保健情報紙-母推さん-」（A4判）を毎月発行し、全国の都道府県・保健所・市町村母子保健関係者等に配布した。 104号～115号</p> <p>6 子育て支援グループ育成事業 地域住民の参加により、子育て問題をテーマとする「母子保健・健全育成住民会議」を次の各県で開催した。 主な研修会の内容は 1) 子育て支援とは 2) 子育てと家族 3) 子育ての仲間の輪をつくろう 4) 食育について 5) おんぶに抱っこはこころの栄養</p> <p>平成15年度 母子保健・健全育成住民会議開催状況 開催日：平成15年9月9日（火）、9月2日（火） 県：石川、和歌山 会場：宇ノ気町 西田幾多郎記念哲学館、ホテル浦島 コパニオンパレス 龍宮 参加人数：合計600人</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		<p>7 母子保健に対する知識の普及啓発活動 10月を「母子保健強調月間」とし、(社)日本産婦人科医会、(社)日本小児保健協会など本会議会員団体の協力、厚生労働省の後援を得て次の事業を実施した。 (1) 妊産婦、乳幼児の健康診査受診勧奨ポスターの制作配布 〔表題〕 「子どもを家庭内の事故から守りましょう」 -1歳半までに起こりやすい事故は転落・やけど・誤飲です- 働く女性、事業主の皆さん「母健連絡カード」を利用しましょう 10月は母子保健強調月間です 〔主唱〕 社団法人 母子保健推進会議 〔後援〕 厚生労働省 〔配布先〕 都道府県、政令市、中核市、関係諸団体 (2) 母子保健啓発用パンフレットの制作配布 〔表題〕 地域母子保健情報 事例集-1- 「母子保健39」 〔配布先〕 都道府県、政令市、中核市、関係諸団体、全国大会参加者</p> <p>8 母子歯科保健知識の普及運動 (1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者に対する歯科保健教育研修会の実施 市町村母子保健対策の一環として母と子の歯科保健知識の普及をはかるため、歯科保健教育研修会を育児教育と併せて、母子保健推進員及び保健師、学校関係者等を対象に、次の各県で行った。</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団 体 名	課題に対する団体としての 15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		主な内容は、 1) 口腔管理 おもしろ歯学 2) 歯周病は万病のもと 3) 摂食機能の発達について 4) 歯科臨床の現場から 5) 噛み合わせと歯の健康 6) 歯科矯正 7) たばこと歯周病 8) 乳幼児歯科保健の現状 9) フッ化物応用について 開催県：鳥取県、新潟県、青森県、山口県、富山県、岐阜県、 佐賀県、長野県、鹿児島県、沖縄県、茨城県 (2) 母子歯科保健教材セットの配布 [対 象] 1.6歳児または3歳児 [実施方法] 保健所、市町村保健センター等の歯科健康診 査及び歯みがき教室の実施日に教材を配布し、歯科保健 知識の普及を図った。 [配布教材] 1.6歳児用歯ブラシとリーフレット 3歳児用歯ブラシとリーフレット [配布数] 559,750セット [配布先] 県(市) 主管課または保健所	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		<p>9 妊婦等禁煙運動の推進 妊婦の喫煙による弊害を訴えるポスターを制作し、都道府県、政令市、中核市、病産院等に配布し、啓発普及を行った。</p> <p>(1) ポスターの制作配布 [表題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」 [後援] 社団法人 日本産婦人科医会 [配布先] 都道府県、政令市、病産院、関係諸団体等</p> <p>(2) リーフレットの制作配布 [表題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」 -タバコは早産・低体重児の誘因になります- [配布先] 都道府県、関係諸団体等</p> <p>(3) クリアファイルの制作配布 [表題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」 -タバコは早産・低体重児の誘因になります- [配布先] 研修会開催県及び参加者等</p> <p>10 子どもの事故防止推進事業 (社)日本家族計画協会が主催する子どもの事故防止のための研修会に全面的に協力を行った。 研修会の開催 平成15年10月4日(土)～5(日) 東京都品川区 人事労務会館</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		<p>11 子どもの虐待防止推進事業 「児童虐待防止のための地域支援事業」として日本財団より助成を受け研修会の開催ならびに「テキスト」「リーフレット」を制作し広く活用を図った。</p> <p>(1) 研修会 延参加者数 2, 170名 神戸市 平成15年 7月11日(金) シーガルホール 420名 青森県 平成15年11月11日(火) アピオあおもり 200名 佐賀県 平成15年12月 4日(木) アバンセホール 320名 高知県 平成15年12月19日(金) 高知城ホール 200名 福岡県 平成16年 1月22日(木) 福岡県庁講堂 450名 栃木県 平成16年 1月29日(木) とちぎ福祉プラザ 380名 岡山県 平成16年 3月23日(火) 岡山県総合福祉会館 200名</p> <p>(2) テキストとリーフレットを上記5県並びに本会関連事業として子ども虐待研修を実施した北海道、茨城県において配布し、有効活用を図った。</p> <p>テキスト… 「母推ノート」ー子ども虐待防止のためのサポートー 15,000部 著者：佐藤 拓代 小児科産婦人科医、大阪児童虐待研究会世話人</p> <p>リーフレット… 「お母さん、子育てを楽しんでいますか？」ー一人で悩まないで、私たちもお手伝いできますー 130,000部 著者：佐藤 拓代 小児科産婦人科医、大阪府児童虐待研究会世話人</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		<p>12 第15回手づくり健康教育媒体コンテストの開催 本会議、(社)日本家族計画協会、(財)予防医学事業中央会の共催、厚生労働省、健康保険組合連合会、(財)健康・体力づくり事業財団、(社)全国保健センター連合会の後援により全国の行政や健康保険組合などで独自に制作、活用している手づくり教材を募集し、全国より94件の応募があった。さらに、他の模範となるよう表彰し、その成果を広く周知した。</p> <p>厚生労働大臣賞 1席 北海道中札内村 河井 泉 PCソフト「見つめてみませんか?自分の『性=生』」 優秀賞 3席 東京都松下電器健康保険組合松下健康管理センター CD「yum・yumソング まごわやさしい」 模型「まごわやさしい食品マスコット」 滋賀県湖東町保健福祉課 記録帳と付属品「夢と元気がふくらむ運動 継続支援グッズ～元気な千両箱」 沖縄県八重山福祉保健所健康推進課 パネルチャート「禁煙教育」 佳作賞 30席 北海道新冠町立朝日小学校 模型「胎児の様子がわかる妊婦エプロン」 ほか29席 奨励賞 60席 北海道渡島保健所 PCソフト(スライドショー)「健康日本21」 ほか59席</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての 15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
75. (財) 母子健康協会		<p>小児医学研究助成 1. 小児医学研究助成 趣 旨 小児医学研究分野における研究を推進し、小児医学の進歩に寄与することを目的とする。 助成月日 平成15年11月1日 件 数 11件 総 額 1300万円 研究期間 平成15年11月～平成16年10月 対象課題 小児医学に関連する研究で小児の増進、疾病の予防と治療に役立ち得るものとする。 対象者 大学、研究所、病院に所属する小児医学分野の研究に従事する50歳未満の研究者とする。</p> <p>2. 小児医学研究助成報告書の発行 趣 旨 助成した小児医学研究の成果を小冊子にまとめ、全国の主要な大学研究機関に贈呈し、情報提供を行う。 報 告 書 平成13年度医学研究報告書 12件 B5版46頁 発刊月日 平成15年5月31日 部 数 300部</p>	<p>小児医学研究助成 1. 小児医学研究助成 趣 旨 小児医学研究分野における研究を推進し、小児医学の進歩に寄与することを目的とする。 助成月日 平成16年10月 件 数 約12件 総 額 1300万円 研究期間 平成16年11月～平成17年10月 対象課題 小児医学に関連する研究で小児の増進、疾病の予防と治療に役立ち得るものとする。 対象者 大学、研究所、病院に所属する小児医学分野の研究に従事する50歳未満の研究者とする。</p> <p>2. 小児医学研究助成報告書の発行 趣 旨 助成した小児医学研究の成果を小冊子にまとめ、全国の主要な大学研究機関に贈呈し、情報提供を行う。 報 告 書 平成14年度医学研究報告書 12件 B5版約40頁 発刊月日 平成16年5月31日 部 数 300部</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）

-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
75. (財) 母子健康協会		<p>保育園・幼稚園の先生への啓蒙 シンポジウム開催 趣 旨 保育園・幼稚園の先生方を対象したシンポジウムを年1回東京地区で開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。シンポジウム内容は、機関誌「ふたば」に収録し、広く情報提供する。 開催日時 平成16年1月30日（金） 14時～17時 場所 アルカデア市ヶ谷 東京都千代田区 テーマ 「保育におけることばの問題と対応」 1歳6ヶ月の検診項目に「意味のある単語を2,3話す」「転ばないで上手に歩く」とありますが、人間の発達には非常に個人差があり、言葉の早い子では8,8ヶ月頃より、遅い子どもは3歳過ぎより話し始めます。それにもかかわらず、幼稚園や保育所において、養育者や保育者は「ことばが遅い」「どもる」「ことばがうまく話せない」など、言葉に関することを問題にすることが多くあります。これらの問題にどのように対応したらよいかについて、正しい認識と諸問題の解決策について専門講師の講演と受講者の質問を中心に話し合った。 講 師 前川喜平（東京慈恵会医科大学名誉教授） 秦野悦子（白百合女子大学発達心理学教授） 栗山容子（国際基督教大学発達心理学教授） 受 講 者 126名（都内保育園・幼稚園の先生）</p>	<p>保育園・幼稚園の先生への啓蒙 1. シンポジウム開催 趣 旨 保育園・幼稚園の先生方を対象したシンポジウムを年1回東京地区で開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。シンポジウム内容は、機関誌「ふたば」に収録し、広く情報提供する。 開催日時 平成17年1月 場所 東京都内 テーマ 「未定」 講 師 前川喜平（東京慈恵会医科大学名誉教授）他2名（未定） 受 講 者 定員150名（都内保育園・幼稚園の先生対象） 2. 機関誌「ふたば」発行 趣 旨 保育園・幼稚園の先生方を対象した機関誌「ふたば」を発行し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。 発行月日 平成16年11月 発行部数 14,000部 贈呈先 全国の主要な保育園・幼稚園 内 容 B6版 約70頁 編集内容は未定</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
75. (財) 母子健康協会		機関誌「ふたば」発行 趣 旨 保育園・幼稚園の先生方を対象した機関誌「ふたば」を発行し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。 発行月日 平成15年11月10日 発行部数 14,000部 贈呈先 全国の主要な保育園・幼稚園 内 容 B6版 100頁 特集 「子どもの心身を蝕む社会環境」 こども心身医療研究所所長 富田和巳 紹介 「健やか親子21の推進について」 健やか親子21推進協議会事務局 寄稿 「子どものけいれん、ひきつけ」 東北大小児科教授 飯沼一宇 シンポジウム「保育と予防接種」 講師 前川喜平（東京慈恵会医科大学名誉教授） 平山宗宏（子ども家庭総合研究所所長） 岡部信彦（国立感染症研究所感染症情報センター長）	